

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

もくじ

安全上のご注意	P.1	■設置方法	P.3
■施工上のご注意	P.1	■配線形態	P.4
■使用上のご注意	P.1	■使用方法	P.9
■各部の名称	P.2	■光接続箱オプション	P.12
■仕様	P.2		

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「注意」として区分してあります。



注意 回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

気をつけていただく内容です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

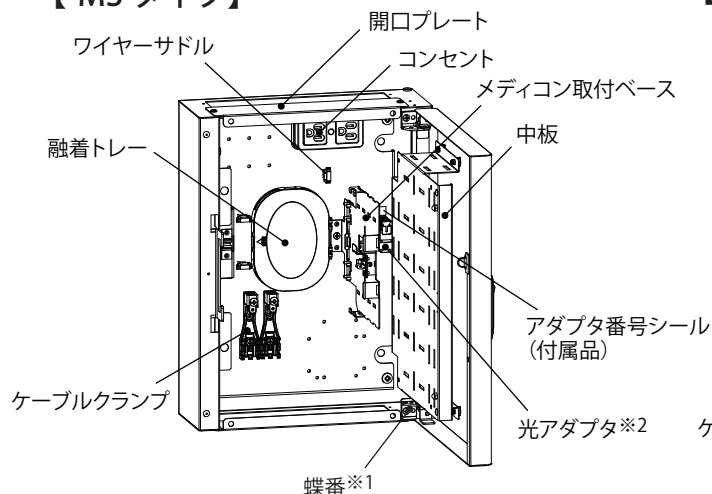
注意											
	結束テープにより光ケーブルおよび光コードを固定する際、締付け過ぎに注意してください。伝送損失および光ファイバ断線の原因になります。										
	ドアの開閉による光ファイバの挟み込みや巻込みに十分注意してください。光ファイバ断線の原因になります。										
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度低下の原因になります。										
	ドアの開閉方向の変更、光ケーブルおよび光コード入出線方向の変更などは、必ず壁面に取付ける前に行ってください。壁面取付後に作業しますと、部品や製品の落下などによりけがの原因になります。										
	<p>壁面に設置する際は、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合、キャビネットが落下し、破損やけがの原因になります。</p> <p>使用するねじなどは、指定されたものを使用してください。取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M3</td> <td>0.2 ~ 1.0</td> </tr> <tr> <td>M4</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.5 ~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>M6※</td> <td>1.5 ~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基板取付用ナットの値になります。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M3	0.2 ~ 1.0	M4	1.5 ~ 2.0	M5	2.5 ~ 3.0	M6※	1.5 ~ 2.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m										
M3	0.2 ~ 1.0										
M4	1.5 ~ 2.0										
M5	2.5 ~ 3.0										
M6※	1.5 ~ 2.0										

■使用上のご注意

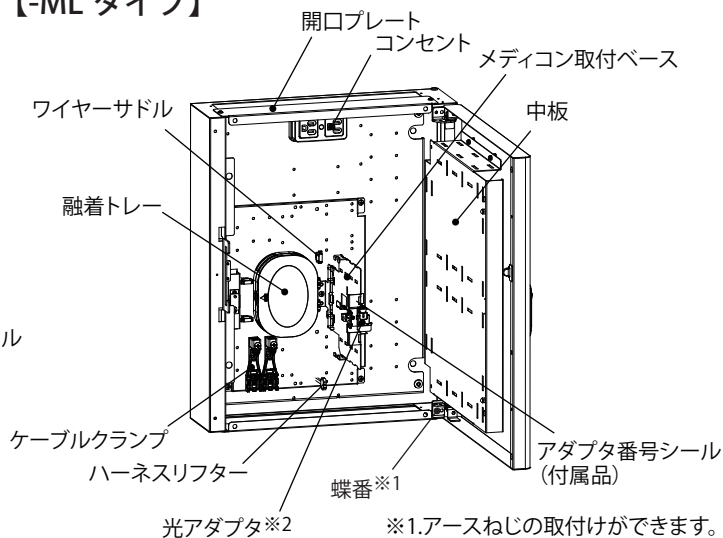
注意	
	融着トレイ、メディコン取付ベース、中板の開閉時に光ファイバの挟み込みや巻込みに十分注意してください。光ファイバの断線の原因になります。
	本製品の上に物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。破損、落下、けがの原因になります。
	<p>次の場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、高湿となる場所 ・振動、衝撃のある場所 ・有機溶剤のかかる場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ、電界、磁界の強い場所 ・腐食性ガスのある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・水滴のかかる場所

■各部の名称

【-MS タイプ】



【-ML タイプ】



※1.アースねじの取付けができます。
※2.融着接続タイプはありません。

●付属品

名称	品名記号	SPJ-S8-MS(-4T)	SPJ-S8-ML(-4T)	SPJ-SA4-SC-MS(-4T)	SPJ-SA4-SC-ML(-4T)	SPJ-SA8-SC-MS(-4T)	SPJ-SA8-SC-ML(-4T)
保護チューブ(6色 220mm)		1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ
補強熱スリーブ単心用(60mm)※1		8本	8本	4本	4本	8本	8本
補強熱スリーブテープ単心用(40mm)※2		2本	2本	1本	1本	2本	2本
回線表示シール		1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
アダプタ番号シール		1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
ケーブルバッキン		2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚
インシュロック		4コ	4コ	4コ	4コ	4コ	4コ
結束テープ(500mm)		2コ	2コ	2コ	2コ	2コ	2コ
マグネットシート(500mm)		2コ	2コ	2コ	2コ	2コ	2コ
コンセント WKS112		1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ
コーナープレート WK9003		1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ
+S タイトサラ小ねじ 4×10		6コ	6コ	6コ	6コ	6コ	6コ
取扱説明書(本紙)		1部	1部	1部	1部	1部	1部

※1. 品名記号の末尾が【-4T】の製品は付属されません。

※2. 品名記号の末尾が【-4T】の製品のみ付属されます。

本製品には、上記以外に、キャビネット付属品が全機種共通で付属されています。

●キャビネット付属品

名称	数量
アースねじ M5×10	1コ
キー(N200番)	1コ
矢印ラベル	1枚

■仕様

【融着接続タイプ】

品名記号	外形寸法 mm※1			メディアコンバータ 取付有効スペース mm※2			機器取付有効スペース mm※2			接続数 心	アダプタ 種類	入出線数	
	W	H	D	E	F	G	I	J	K			入線	出線
SPJ-S8-MS(-4T)	300	400	140	150	160	30	230	300	50	8	-	光ケーブル: 2	光コード: 8
SPJ-S8-ML(-4T)	400	500	〃	〃	〃	〃	320	400	〃			光ケーブル: 1	光ケーブル: 1

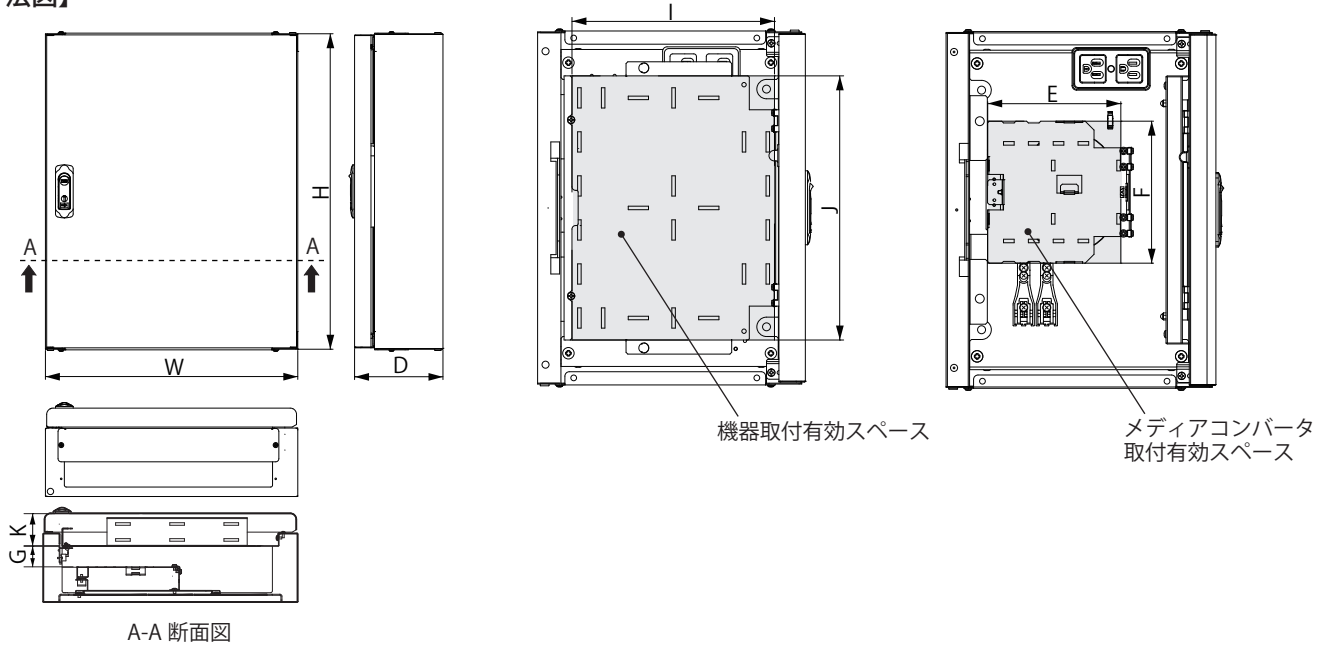
※1. 組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、W・Hが+1mm、Dが+2mm大きくなります。

【融着+コネクタ接続タイプ】

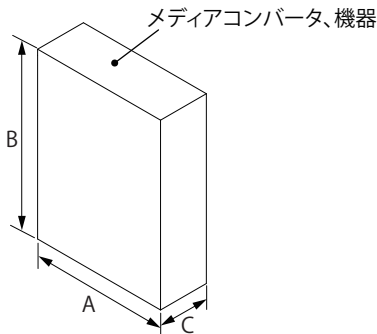
品名記号	外形寸法 mm※1			メディアコンバータ 取付有効スペース mm※2			機器取付有効スペース mm※2			接続数 心	アダプタ 種類	入出線数	
	W	H	D	E	F	G	I	J	K			入線	出線
SPJ-SA4-SC-MS(-4T)	300	400	140	150	160	30	230	300	50	4	SC	光ケーブル: 2	光コード: 4
SPJ-SA4-SC-ML(-4T)	400	500	〃	〃	〃	〃	320	400	〃				
SPJ-SA8-SC-MS(-4T)	300	400	〃	〃	〃	〃	230	300	〃	8		光ケーブル: 2	光コード: 8
SPJ-SA8-SC-ML(-4T)	400	500	〃	〃	〃	〃	320	400	〃				

※1. 組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、W・Hが+1mm、Dが+2mm大きくなります。

【寸法図】



※2 推奨機器寸法



【メディアコンバータ】

機種	搭載数	搭載可能寸法 mm		
		A	B	C
-MS、-ML	2台	~ 70	~ 95	~ 30
	1台	~ 145	~ 100	//

【機器】

機種	搭載可能寸法 mm		
	A	B	C
-MS	~ 130	~ 250	~ 50
-ML	~ 220	~ 350	//

■設置方法

⚠ 注意

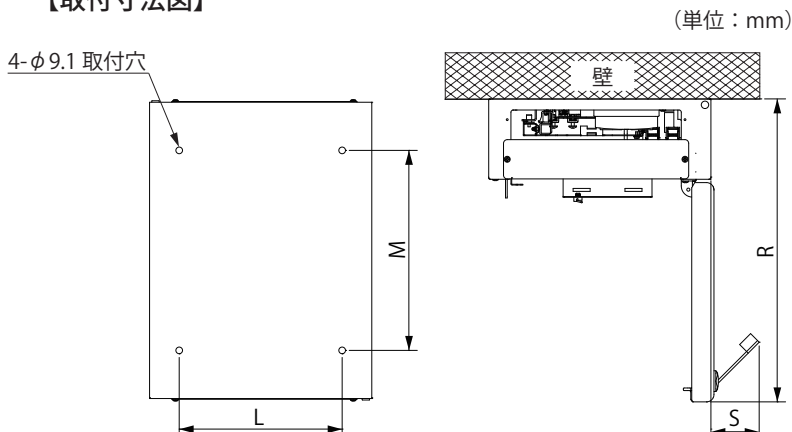


壁面に設置する際は、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。
強度が十分でない場合、キャビネットが落下し、破損やけがの原因になります。

製品を設置する際は背面の取付け穴を利用して、壁面に取付けてください。

【ご注意】 壁際に設置する際は、ドア開閉スペース寸法以上離して取付けてください。

【取付寸法図】



機種	取付穴ピッチ mm				ドア開閉スペース mm
	L	M	R	S	
-MS	220	270	409	41	
-ML	320	370	509	//	

■配線形態

⚠ 注意



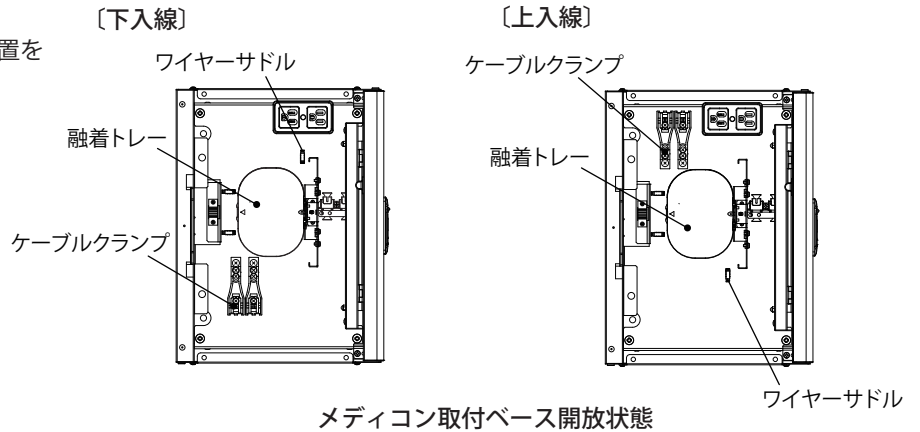
ドアの開閉方向の変更、光ケーブルおよび光コード入線方向の変更などは、必ず壁面に取付ける前に行ってください。壁面取付後に作業しますと、部品や製品の落下などによりけがの原因になります。

ドア開閉方向や光ケーブルおよび光コードの入出線方向を変更することができます。(P.10「●ドア開閉方向の変更」を参照)
入出線方向側の開口プレートを取外し、付属のケーブルパッキンを貼付けてください。(P.10「●ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法」を参照)

●入出線変更方法

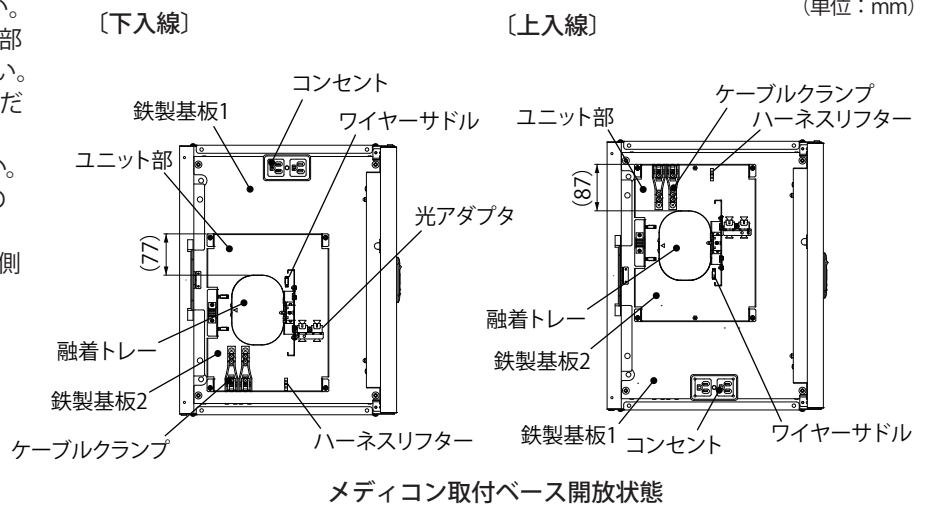
【-MS タイプ】

ケーブルクランプ、ワイヤーサドルの位置を変更してください。



【-ML タイプ】

1. ケーブルクランプを取外してください。
2. 融着トレイを取外し、鉄製基板2 最上部から約 87mm 下側に移動してください。
3. ケーブルクランプを上側に移動してください。
4. 光アダプタを上方向へ移動してください。
5. ワイヤースドル、ハーネスリフターの位置を変更してください。
6. ユニット部を上側へ、コンセントを下側へ移動してください。



(単位：mm)

【融着接続タイプ】

- ・メディコン取付ベース裏面で融着トレイから出線した光コードの余長を収納してください。(図1) その際、メディコン取付ベースの角穴に結束テープを通し、光コードを固定してください。
- ・中板への各種配線は蝶番側で入出してください。(図2)
各種配線は、中板の角穴に結束テープを挿入して固定してください。

ご注意 光コードを挟んだり、引張ったりしないでください。断線の原因になります。

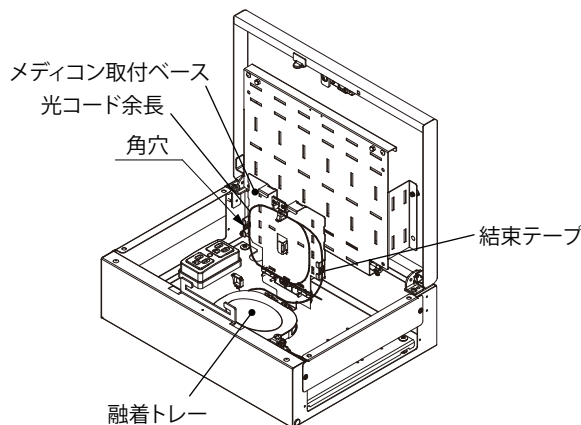


図1 メディコン取付ベース開放状態

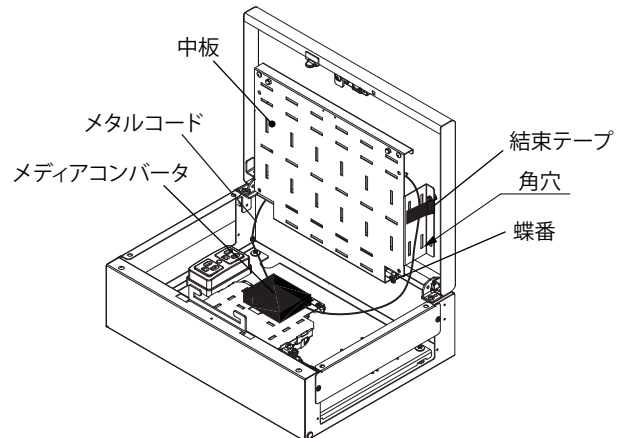
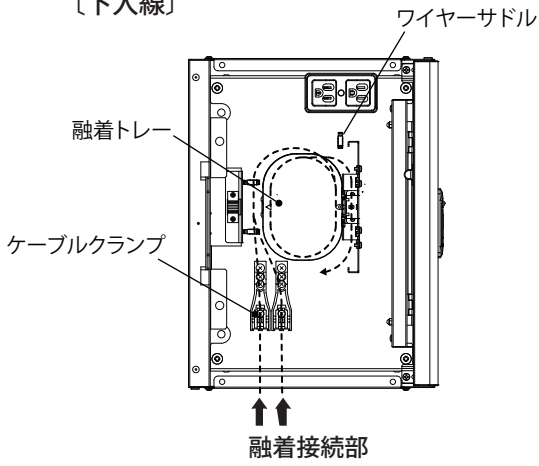


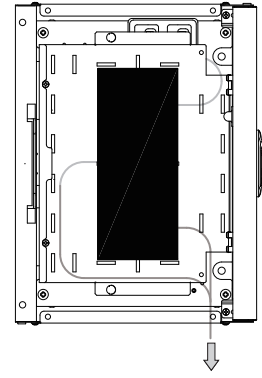
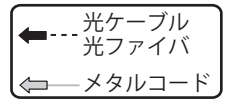
図2 中板開放状態

【-MS タイプ】

〔下入線〕

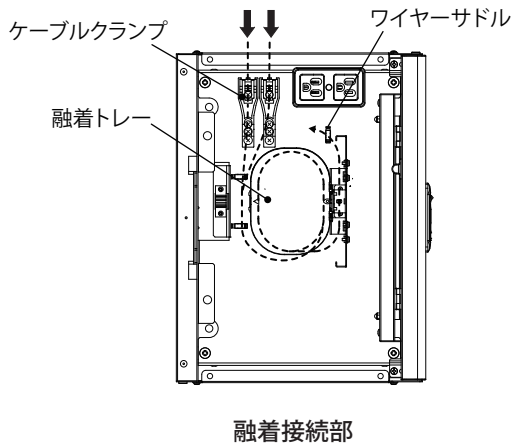


メディアコンバータ取付部

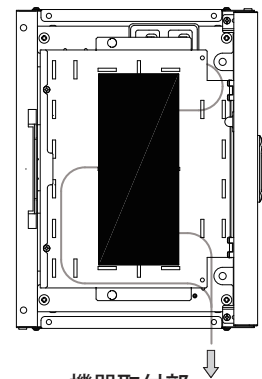


機器取付部

〔上入線〕



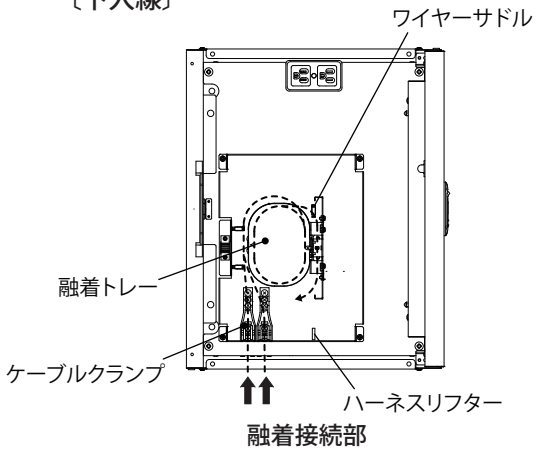
メディアコンバータ取付部



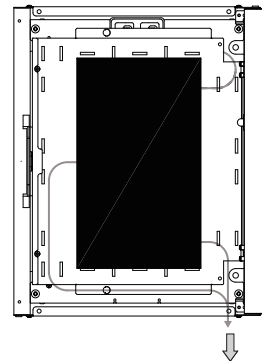
機器取付部

【-ML タイプ】

〔下入線〕

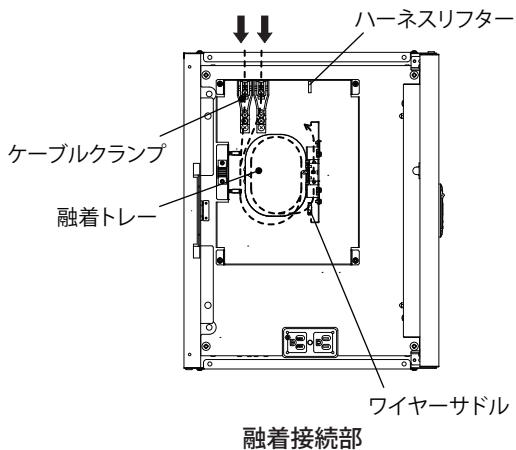


メディアコンバータ取付部

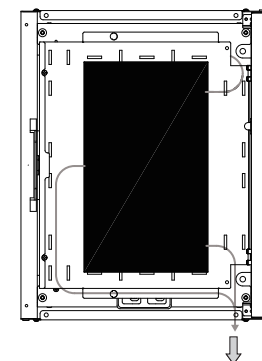


機器取付部

〔上入線〕



メディアコンバータ取付部



機器取付部

【融着+コネクタ接続タイプ】

- メディコン取付ベース裏面で光アダプタから出線した光コードの余長を収納してください。(図3)
その際、メディコン取付ベースの角穴に結束テープを通し、光コードを固定してください。
- 中板への各種配線は蝶番側で入出してください。(図4)
各種配線は、中板の角穴に結束テープを挿入して固定してください。

【ご注意】 光コードを挟んだり、引張ったりしないでください。断線の原因になります。

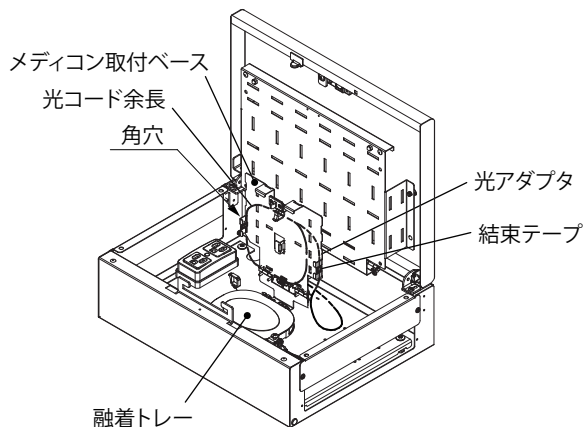


図3 メディコン取付ベース開放状態

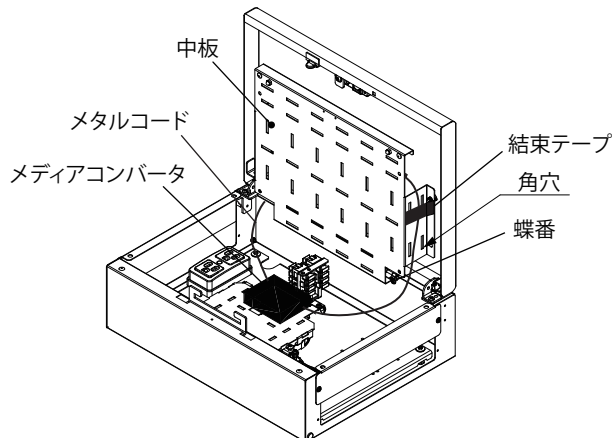
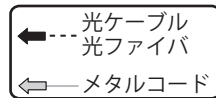
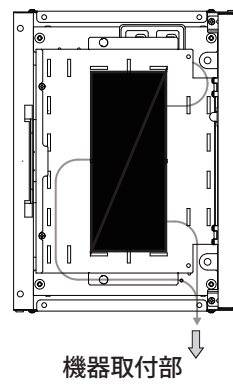
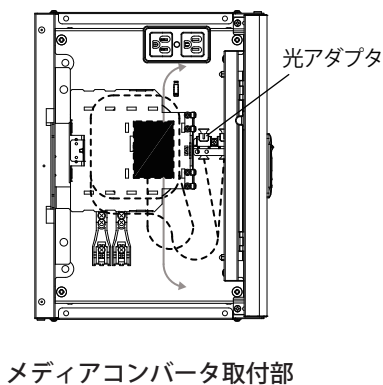
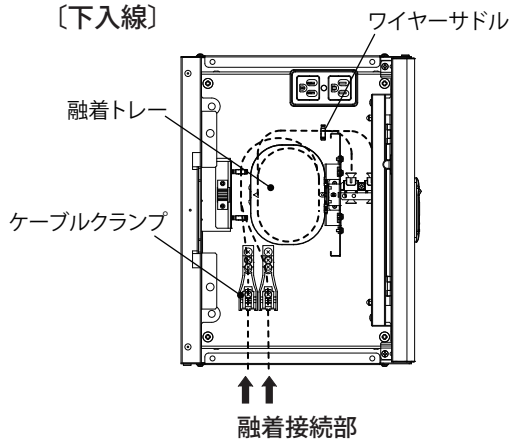


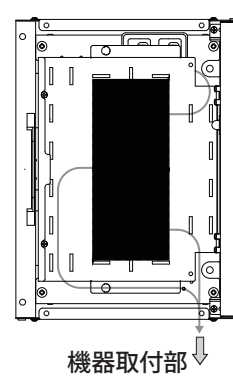
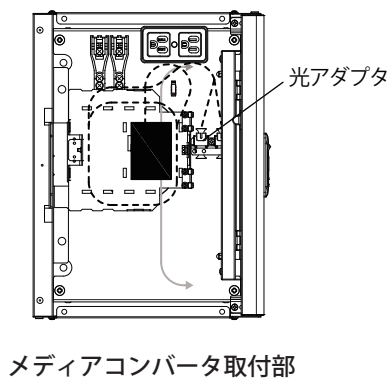
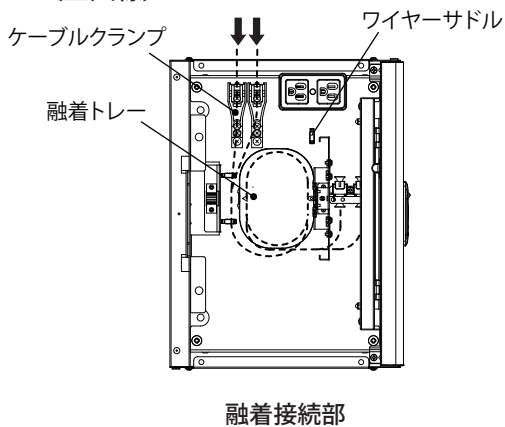
図4 中板開放状態

【-MS タイプ】

〔下入線〕

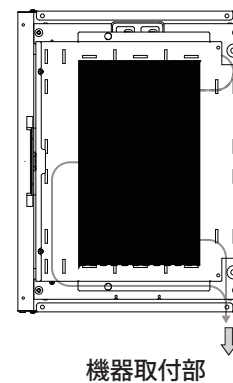
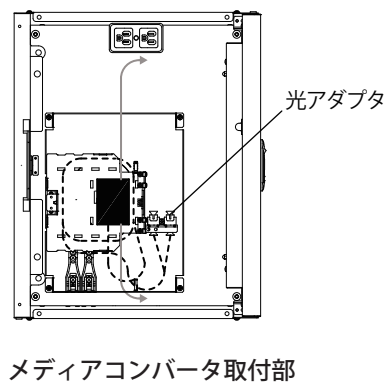
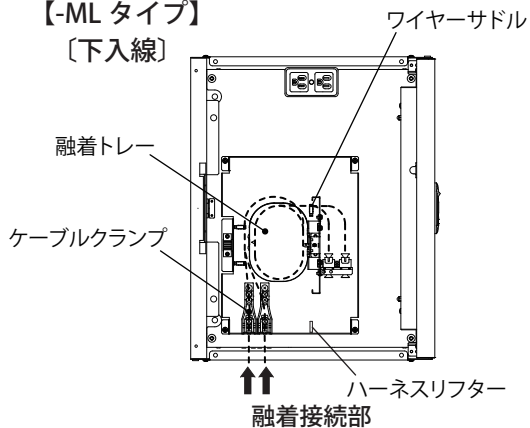


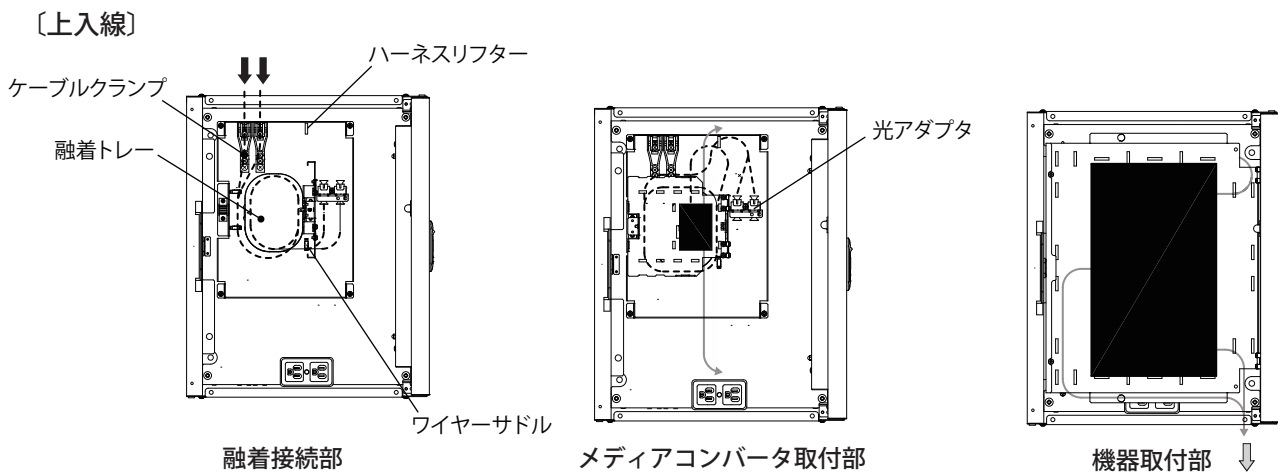
〔上入線〕



【-ML タイプ】

〔下入線〕





●電源部

- ・付属のコンセント【WKS112】は、メディアコンバータの AC アダプタの形状に合った位置に取付けてください。
- ・A タイプの取付には、付属のコーナプレート【WK9003】と合わせて取付けてください。
- ・電源ケーブルはφ1.6mmまたはφ2mm単線の VVF ケーブルを使用してください。

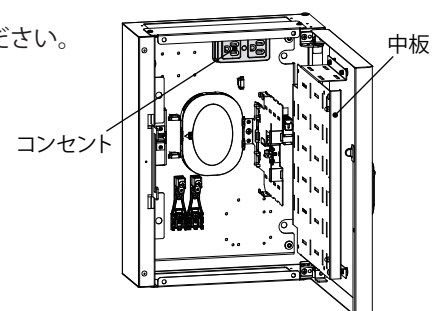
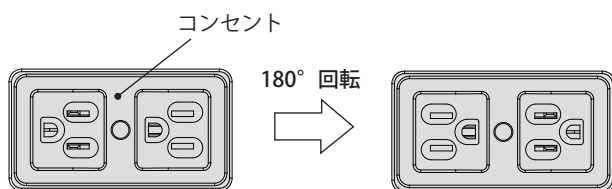
【-MS タイプ】

(単位：mm)

タイプ		入線方向	下入線	上入線
Aタイプ	ACアダプタ		<p>VVFケーブル ACアダプタ コンセント コーナプレート</p>	<p>50</p>
	コンセント	 コンセント (WKS112) + コーナプレート (WK9003)		
Bタイプ	ACアダプタ		<p>VVFケーブル コンセント ACアダプタ</p>	<p>71</p>
	コンセント	 コンセント (WKS112)		
Cタイプ	ACアダプタ		<p>VVFケーブル コンセント ACアダプタ</p>	<p>71</p>
	コンセント	 コンセント (WKS112)		

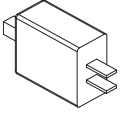
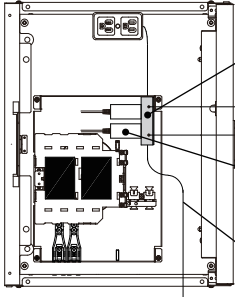
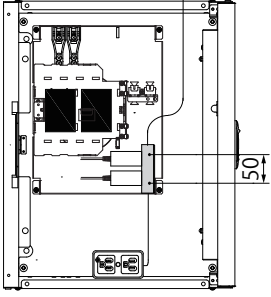

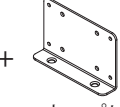
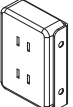
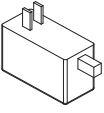
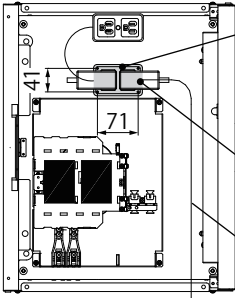
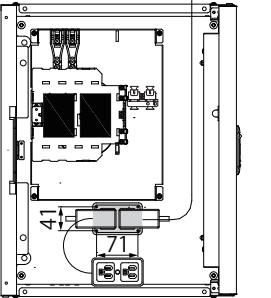
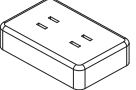
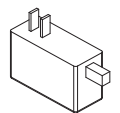
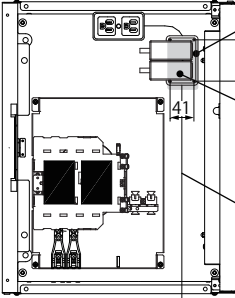
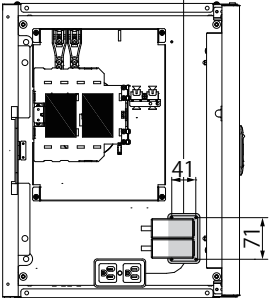
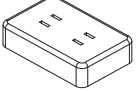
〔中板に取付ける機器が A タイプの AC アダプタで 2 台搭載する場合〕

搭載されているコンセント (E 付コンセント) の取付方向を 180° 回転させて使用してください。



【-MLタイプ】

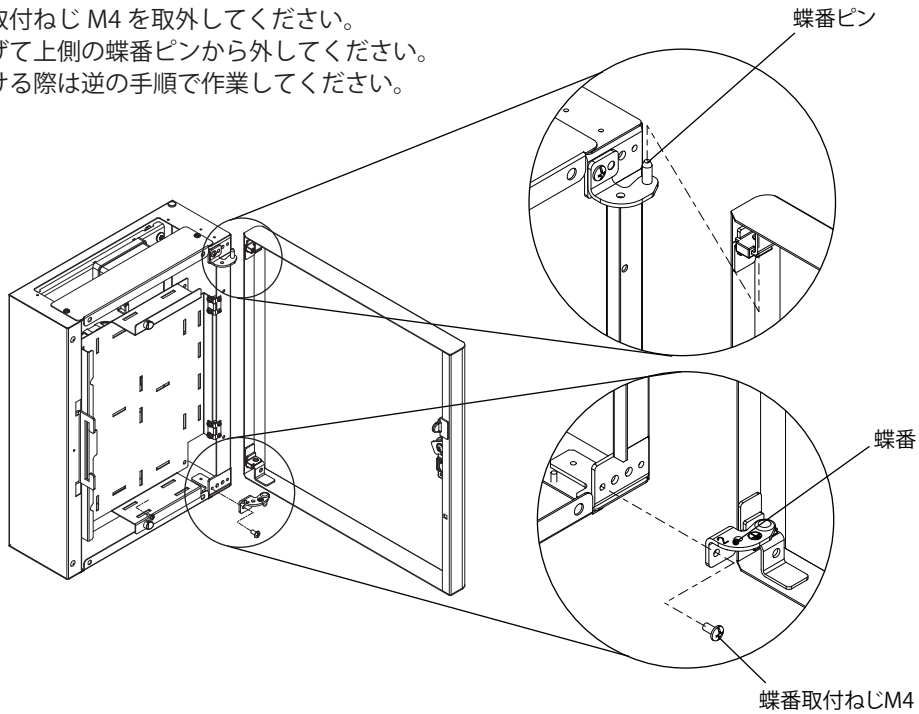
(単位：mm)

タイプ		入線方向	下入線	上入線
Aタイプ	ACアダプタ		 <p>コンセント コーナープレート</p> <p>50</p> <p>ACアダプタ</p> <p>WFケーブル</p>	 <p>50</p>
	コンセント	   <p>コンセント (WKS112)</p> <p>コーナープレート (WK9003)</p>		
Bタイプ	ACアダプタ		 <p>コンセント</p> <p>71</p> <p>ACアダプタ</p> <p>WFケーブル</p>	 <p>71</p>
	コンセント	 <p>コンセント (WKS112)</p>		
Cタイプ	ACアダプタ		 <p>コンセント</p> <p>71</p> <p>ACアダプタ</p> <p>WFケーブル</p>	 <p>41</p> <p>71</p>
	コンセント	 <p>コンセント (WKS112)</p>		

■使用方法

●ドアの着脱方法

1. 下側の蝶番取付ねじ M4 を取外してください。
2. ドアを持上げて上側の蝶番ピンから外してください。
3. ドアを取付ける際は逆の手順で作業してください。



⚠ 注意



取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

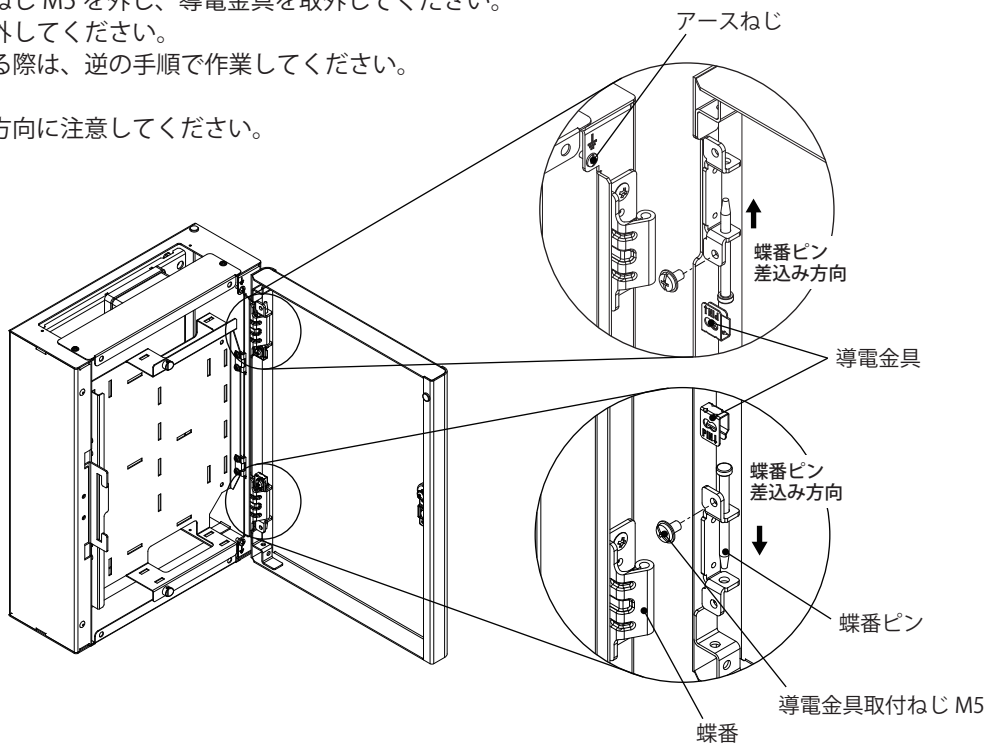
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0

【組替仕様 キャビネットの変更 -BK】

1. 導電金具取付ねじ M5 を外し、導電金具を取外してください。
2. 蝶番ピンを取外してください。
3. ドアを取付ける際は、逆の手順で作業してください。

⚠ ご注意

導電金具の取付方向に注意してください。



⚠ 注意

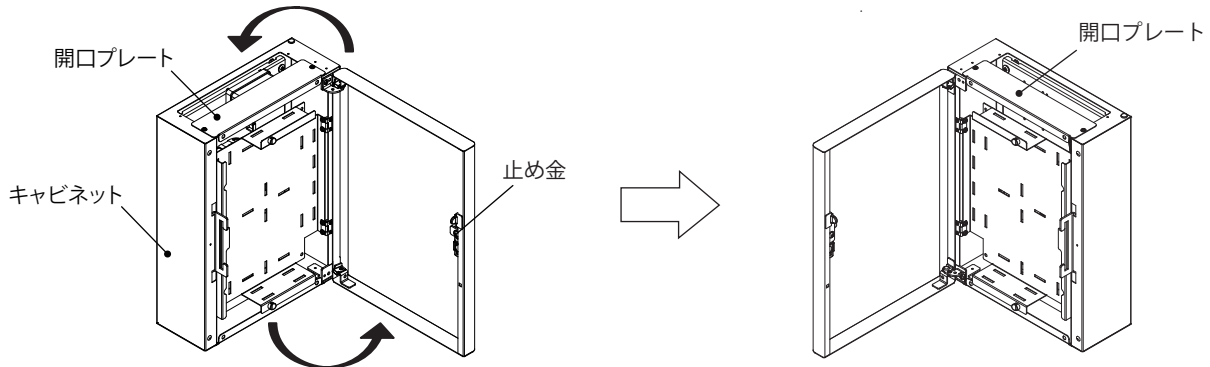


取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

● ドア開閉方向の変更

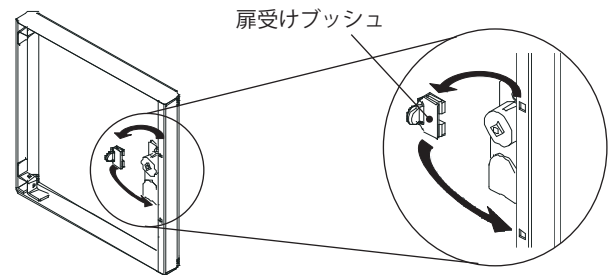
1. キャビネットを上下反転してください。
2. ハンドルおよび止め金を取外してください。
3. ハンドルの回転方向を変更してください。
(「● ハンドルの回転方向の変更」を参照)



4. 扉受けブッシュを付替えてください。

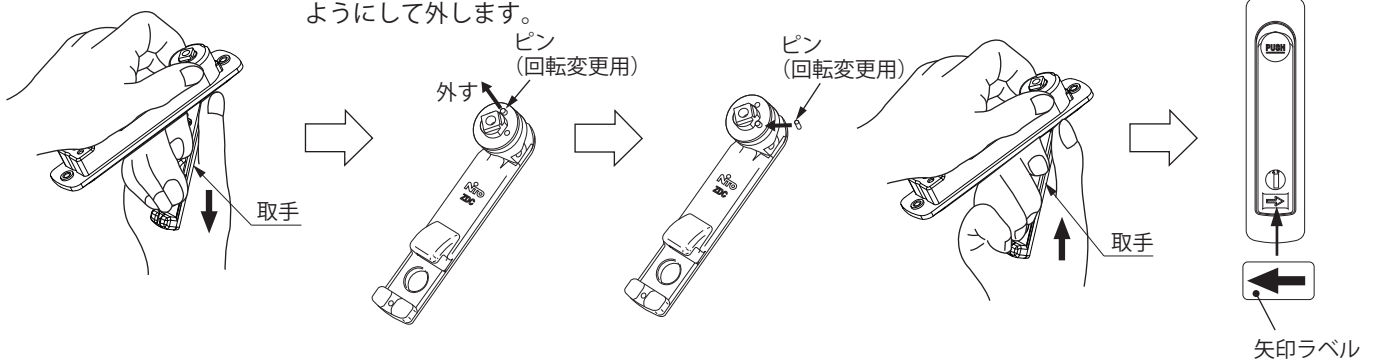
ご注意

組替仕様 キャビネットの変更-BKに扉受けブッシュは付いていません。



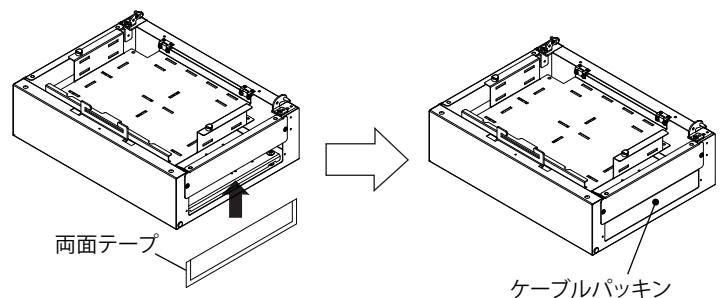
● ハンドルの回転方向の変更

1. 図のような姿勢で取手を下に引抜きます。
2. 図の位置にピンが挿入されています。これを下向きにしてピンをなくさないようにして外します。
3. 図の穴位置にピンを挿入します。
4. 図のような姿勢で取手を本体に確実に組み込みます。
5. 矢印ラベルを重ね貼りします。



● ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法

1. ケーブルパッキンの貼付面の汚れ、湿気などを取除いてください。
2. ボデーの底面にケーブルパッキンの下側が接するように入出線側のボデーに貼付けてください。



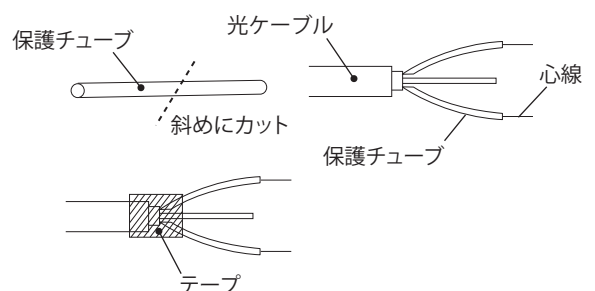
● 保護チューブの使用方法

【保護チューブの挿入】

1. 保護チューブの先端を斜めに切断してください。
2. 保護チューブを心線に挿入してください。

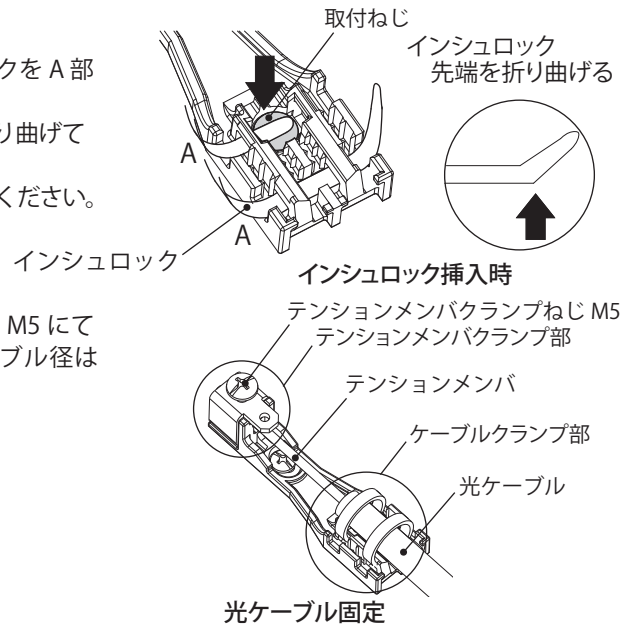
【保護チューブのテーピング】

保護チューブの抜け防止として、チューブとシース剥ぎ取り端部をテーピングしてください。



●ケーブルクランプの使用方法

1. 光ケーブル外被をケーブルクランプ部にのせる前に、インシュロックを A 部に挿入してください。
 - ・インシュロックを A 部に挿入する際、インシュロックの先端を折り曲げてください。
 - ・インシュロックを取付ねじ上部に通す際、指で押えながら挿入してください。
2. 光ケーブルのテンションメンバをテンションメンバクランプねじ M5 にて固定してください。テンションメンバ径は $\phi 4\text{mm}$ まで、光ケーブル径は $\phi 21\text{mm}$ まで把持できます。



⚠ 注意

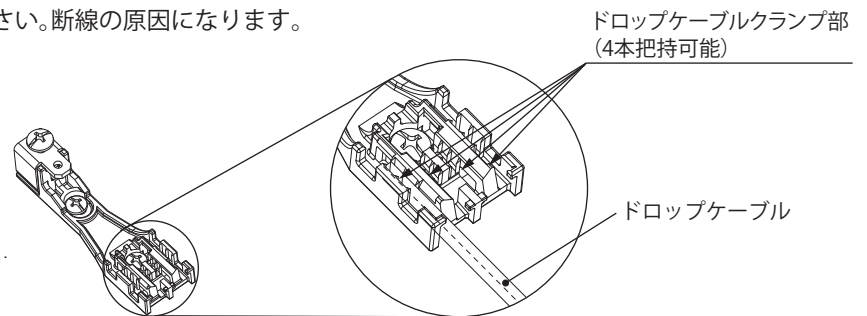


取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

●ドロップケーブル使用の場合

ドロップケーブルクランプ部にドロップケーブルを挿入して固定してください。
【ご注意】 光ファイバの挟込みに注意してください。断線の原因になります。



●融着トレーの使用方法

トレーカバーを開け、心線ホルダ部に補強熱スリーブを差込み、余長を融着トレーに収納してください。融着トレーは 1 コで 4 心まで対応できます。FO コード(光コード)の分岐部(ダム部)は融着トレー内に収納してください。(図 7)

【ご注意】

心線は融着トレーの開閉ヒンジ側で入出してください。それ以外の場所から入出すると、融着トレーの開閉時に心線を引掛け、断線などの原因になります。

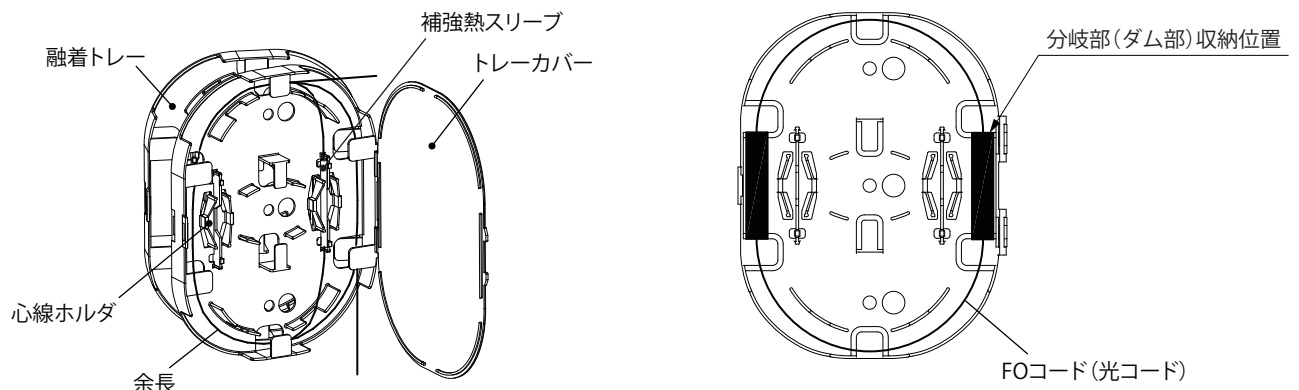


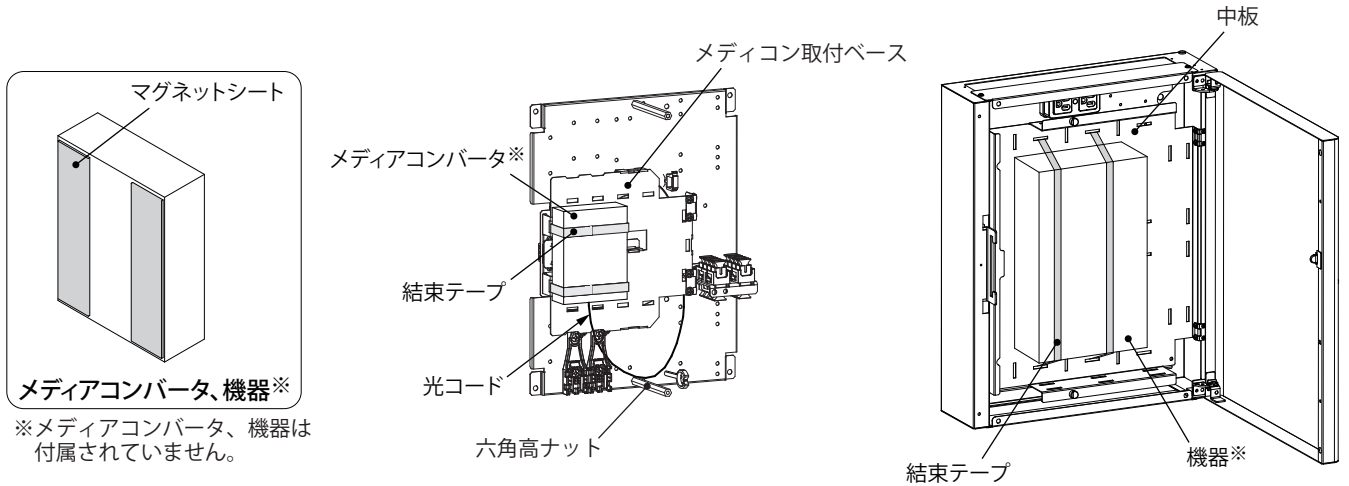
図 7 分岐部(ダム部)収納

●機器の取付方法

1. 付属のマグネットシートを適正な長さに切断して機器に取付けてください。
2. メディコン取付ベースまたは中板に固定してください。
マグネットシートのみで十分な吸着力が得られない場合には、メディコン取付ベースまたは中板の角穴に結束テープを通し、機器を固定してください。

ご注意

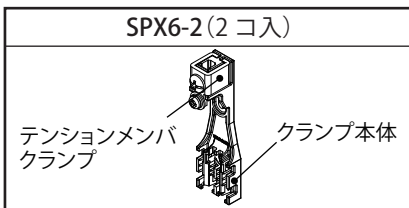
マグネットシートには、両面テープが付いていません。
機器の材質が鉄以外の製品には使用しないでください。



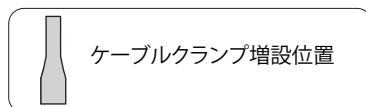
■光接続箱オプション

●ケーブルクランプの増設

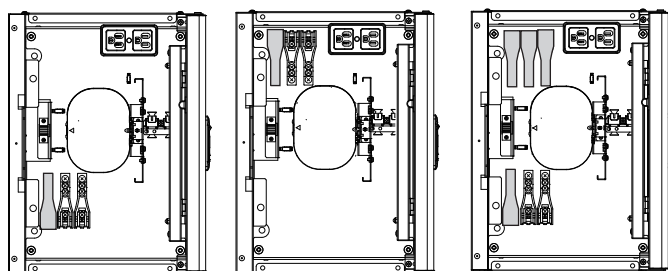
ケーブルクランプを増設する場合は、SPX6-2(2コ入)をご利用ください。増設個数については下記表を参照してください。



【ケーブルクランプ増設可能位置】(メディコン取付ベースおよび中板開放状態)



[-MS タイプ]

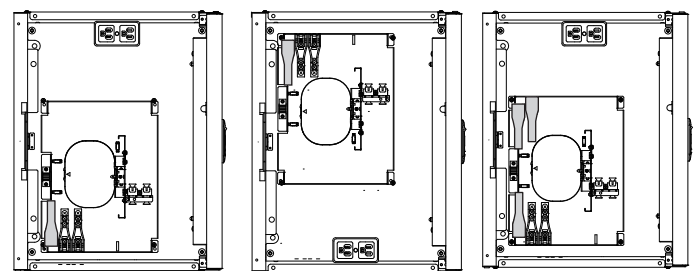


下入線時

上入線時

上下入線時

[-ML タイプ]



下入線時

上入線時

上下入線時

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2015 年 3 月現在のものです。

B880251922